

第15回 建築構造基準委員会 議事要旨

日時：令和2年2月12日（金）10:00～12:00

場所：中央合同庁舎3号館11階 特別会議室

1 開会

2 議事

（1）熊本地震を踏まえた取組について<報告>

①「防災拠点等となる建築物に係る機能継続ガイドライン」について

- ・今まで、ややもすると、建築基準法の規定を十分条件的な意味で捉えてしまうところがあった。国土交通省が建築基準法の規定よりも高い性能の建築物をつくるという姿勢を示したこと、建築計画、設備を含めて一体としての安全性を図るという方向を示したことは、一つのブレークスルーになるのではないか。ぜひこの取り組みを継続してほしい。
- ・基礎構造についてはまだ検討段階のため、今後、検討してほしい。

②「木造建築物耐震性向上サブタスクグループ報告書」について

- ・今後の方向として、技術的助言などの形で周知するのか。
- ⇒緊急性が高い事項については、(公財)日本住宅・木材技術センターのテキスト等を通して広く周知している。また、中長期的に検討が必要な事項については、引き続き検討を行っていく。

③益城町内の地震動評価の検討について

- ・この検討の成果を、今後色々な場で発表されることを期待している。

（2）ブロック塀等の安全確保対策について<報告>

- ・都道府県による取組の差が大きいと聞いている。できるだけ多くの自治体に取り組んでもらえるよう、国土交通省として働きかけてほしい。

（3）構造関係規定のあり方に関する検討について<報告>

- ・構造関係規定を見直しても、不遡及の原理が働いて、有益性がなくなるのではないか。
- ⇒増改築のタイミングで現行基準に合わせることをしているが、一方で、既存不適格建築物において増改築が進まないことによる弊害もある。
- ・過去の地震の被害ばかりを追うと規制強化ばかりになる。緩和できるところは、積極的に緩和することも考えてほしい。
 - ・安全に関しては、ある程度の規制強化も、恐れず取り組んでほしい。
 - ・基礎の二次設計について、重要な構造物に関しては、ガイドライン的なことを目指してほしい。

(4) その他<報告>

- ①台風被害を踏まえた建築物に関する検討事項
- ②最近の建築基準の見直し状況等について
- ③建築基準整備促進事業について
(説明のみで特に質疑等はなし)

以 上